

「核抑止論」で平和はつくれない！ 第38回網の目平和行進に250名が参加！



250名の行進で核廃絶訴え

38回目を迎えた「網の目平和行進」。6月23日(金)に開催。民主団体や労働組合などの参加も含めて250名の行進団で平和と核兵器廃絶を願う広島市内を行進しました。今年度は、コロナ感染症の扱いが2類から5類へと変わり、シユプレヒコールも復活して行いました。市内4コースを6時過ぎに出発した行進団は、それぞれプラカードなどを手に、宣伝カラーから流れるアナウンスとともに行進しました。

恒例のねこバスも参加

市教組(全教)の分会から

は、約40名の参加がありました。各コースの責任者、アナウンサーなどを市教組のメンバーが務め、行進をリードしました。毎年恒例となった藤永さん(市教組OB)作成の『ねこバス』は、これまでコロナ対策として着用していたマスクをはずしての参加でした。マスクをとった素顔のかわいらしい姿に、にっこり笑顔になる参加者もいました。

集結集会では、原爆犠牲者だけでなく、「沖縄慰霊の日」ということで、沖縄犠牲者にも黙祷し、その後主催者あいさつ。

被爆地ヒロシマでの核抑止固執は許せない！

市原水協の金子代表は、終息の見えないロシアのウクライナ侵略での「軍事対軍事」「核対核」の脅しあいを批判。「核兵器保有国に対して、完全廃棄を求める声をあげよう」と呼びかけました。県原水協の高橋代表理事は、G7広島サミットでの「広島ビジョン」について「核兵器を正当化する核抑止論を被爆地ヒロシマで表明することは



ねこバスも参加した南コース

絶対に許されない！」と強く批判。「『過ちは繰り返さない』という碑文が核兵器禁止条約の原点。『核廃絶』こそヒロシマが発信すること。」と訴えました。その後、松井広島市長からの連帯のメッセージが代読されました。

軍拡でなく話し合いを

最後は藤中委員長が「『軍拡ではなく話し合いが大切』の声を大きな声にしよう」そのため、原水禁世界大会を成功させようと訴えました。

あらくさ

「子どもが大好きなんです。うちのクラスの子が一番かわいって思ってるんです。」恥ずかしそうに言った若い先生。職場でこんなにストリートな

「子どもが好き」という言葉を聞いて感動！その先生のクラスには、去年は教室から出ていた子がいるが、今年はクラスに居場所があり穏やかに過ごしている。その先生に、どんなことをしているのか聞くと、「特に何も」と。いやいや、何もせず子どもが変わることはない。気持ちよく過ごせるためにしていることや、していないことがあるはずなんだろうが、きつと無意識にやってのけているのだろう。無意識にやっていることの中にうまくいっている答えがある。それがどんな行動で、どんな環境なのかを見えるものにして、他の先生たちと共有することで、きつとこの子は来年からも教室にちゃんと居場所ができるようになるんだろうと思えた瞬間だった。「子どもが好き」と胸を張って言う先生が無意識のうちに行っている言動は宝だと思った。(M)

各支部で定期大会を開催し、新たなスタート！

第77回広島市教組（全教）定期大会



オンライン併用でしたが、会場参加も多数！

6月3日（土）、広島ロードビルで、第77回市教組（全教）定期大会を開催しました。運動会・体育祭のシーズンを迎える中、代議員の確保が心配されましたが、オンライン含め代議員30名、執行部合わせて全体で50名の参加で成功させることができました。

執行部からの5つの議案提案を受けて11名の方から活発な発言がなされ、すべての議案が全会一致で採択されました。藤中執行委員長は、閉会

のあいさつで「今こそ職場で同僚性を発揮しましょう。あらゆるつながりを広げていきましよう。そのつながりの広さや多様さが、仲間を迎える大きな力となり、要求実現の声を大きくしていきたいと思います。」とまとめました。全教広島からは、小林委員長がオンラインで挨拶を行いました。小林委員長は、「G7広島サミットは、いったい何だったのでしょうか。軍拡にむけた急激な動きやその他の悪法が次々と立てられる異常さに対して、私たちはどう対応していけばいいのでしょうか。と問題提起を行いました。」

討論では、職場の実態や取り組み等を交流し、最後に、「要求で団結し行動する原則を貫き、子どもたちに平和な未来を手渡そう」との特別決議が採択されました。

尾道支部定期大会

6月24日（土）で、定期総会を開催しました。参加者6名。子育て中の組合員がわが子と一緒に参加し、討論にも参加。山本書記次長が参加し挨拶と情勢報告を行いました。討論では、コロナ感染症が一定に収束している中で、行事への参加、コンクールなどの行事の復活がしていること。全国学力テストに対する取り組み、度を越した研修や研究会の参加で、多忙化に拍車がかかっていることが報告されました。また、「子育てと仕事を両立させるためのサポートハンドブック」を使って、該当する同僚に紹介し、全教や教職員への権利や働き方改革について交流した事例も出されました。議事に沿って、昨年度活動報告、決算、今年度方針、予算案、新役員を承認しました。総会后、昨年加入した組合員の歓迎会を兼ねて、懇親会を行いました。交流を深めることができました。



海田支部定期大会

6月24日（土）海田支部は、今年度の定期大会を実施しました。支部各地からオンライン参加を含め代議員6名、執行部から6名、県から1名、退職者1名の計14名が集まりました。

開会に先立って、3月末を持って退職された9名の組合員を代表して椛垣先生からメッセージをいただきました。楽しかった組合の行事、現在は、大学で栄養教諭の卵を指導されています。

開会の挨拶では、武本支部



長は、「長時間労働の解消は、教員を増やし、持ち時間数を減らすことに尽きる」と明言し、そのために全教の運動を前にすすめるように呼びかけました。

全教広島共済会からは、差し入れがあり、共済の学習を行いました。討論ではICT推進にかかわって、「学校間格差が生まれている」「支援員を拡充してほしい」などの発言がありました。昨年度の活動報告、決算承認、今年度の方針と予算のすべての議案が採択されました。三倉さんに変わって岡田京子さんが書記として活動していただくことが確認されました。

福山支部定期大会

教育の“そもそも”へ立ち返って

全教福山は6月24日(土)、第35回定期大会を開催しました。開会あいさつで船石委員長は、「現場はとにかく多忙で、仲間が集まるのが難しい状況です。県教委交渉のテーマは“多忙と先生不足”にしたいと思っています」と述べ、そのための交流と学習を呼びかけました。議案の提案後、今年は井上さん(城北分会)が校区で取り組む子どもたちを自立に向かわせる実践例を報告し、討論を行いました。「◎さまざまな場面で“知らん、できん、ムリ”と口にする子どもたちは、成長の過程で成功体験がなく、小・中・高と分らないこと、できないことの上塗りをしてきたのだと思います。◎個々の子どもたちに応じた指導ができるのが一番ですが、その条件がありません。◎あれもこれもと指示ばかり出されてパニック状態の現場で、教員に主体性がないのに子どもたちに主体性って…無理だと思えます」など、たくさん声が出され、充実した大会となりました。



広島県教育長は、私たちの税金を返せ！

「官製談合疑惑をただす会」が 住民訴訟

広島県教育委員会によるNPO法人への発注事業が外部調査で違法と指摘された問題で、「県教委『官製談合疑惑』をただす市民の会」は平川氏に対して、不正に支出した金額の返還を求め住民監査請求をしましたが、県監査委員はこれを棄却しました。これを受けてただす会は5月30日、



県に対して、NPO法人への支出や調査費、平川教育長が利用したタクシー代など計5700万円余りを平川氏に返還させるよう求める訴訟を広島地裁に起こしました。昨年12月の県教委自らが委託した弁護士からの調査報告書でも、パンゲアに発注した事業のうち2件が官製談合防止法や地方自治法に違反すると指摘されています。

「おしゃべりカフェ」を夏休みに開こう!

あなたの学校で、夏休みに「おしゃべりカフェ」を開きませんか。職場で同僚と話をすることも作れないほどの多忙さ。どうしてこうなったんでしょうね?夏休みにホッと一息、おしゃべりできる空間を作りませんか?

全教共済担当者が参加人数分のアイスクリームを持って行きます。(少し共済の紹介をさせてもらえるとさらにうれしいです!)ぜひご検討ください。

- 【時間】 30分程度(どの時間帯かはご相談に応じます。)
- 【場所】 あなたの学校のどこか
- 【参加人数】 お一人からでもOK
- 【期間】 あなたの学校の夏休み期間中(ご希望の日程に合わせます。)
- 【特典】 参加者数のアイスクリームをプレゼント(希望でお弁当を加えることも出来ますよ。)

<申し込み方法>

希望される学校の方は、
下記の方法でご連絡ください。
TEL 082-264-7850



メール zenkyo@enjoy.ne.jp(上QRコードからも申し込みます。)

(主催) 全広島教職員組合・全教広島共済会

待ってま〜す!



「全国教育のつどい2023」の開催

全国教育のつどいが8月18日～20日にかけて東京で開催されます。今年は、分科会は現地参加のみとなりました。全教広島からは、下記の7名がレポート参加予定です。

18日(金) 開会集会 教育フォーラム
 19日(土) 10:00～18:00 分科会
 20日(日) 10:00～16:00 分科会

■県内からのレポーター
 (全国教研・レポート提出者)
 尾道 奥野 正作さん(教育課程)
 佐伯 今村 節子さん(音楽)
 広島 毛利 幸子さん(音楽)
 福山 小林 克巳さん(社会)
 広島 坂根 真実子さん(障害児教育)
 神部 泰 さん(平和)
 藤川 晴美さん(文化) OB

■オブザーバー参加募集中です

開会集会はオンライン参加できますが、分科会は現地参加のみです。現地参加を希望される方は、全教広島まで連絡してください。

「ヒロシマの平和教育」学習会

「はだしのゲン」削除問題から、平和教育のあり方が問われています。いっしょに学びましょう!

1回目7/7(金)19:00～21:00

【広島教育研究所・オンライン】

- ・ヒロシマの平和教育の歴史の整理(高橋さん)
- ・高校生平和ゼミナールの活動(澤野さん)

2回目7/19(水)19:00～21:00

【広島教育研究所・オンライン】

- ・「平和ノート」の危険性(辻隆広さん)

3回目7/28(金)18:30～20:30

【東区民文化センター・オンライン】

- ・道徳枠としても実施した私の平和教育(横山さん)
- ・各校の「平和教育」の内容の交流

4回目8/10(木)19:00～21:00

【広島教育研究所・オンライン】

- ・これからの平和教育(寺本透さん)



いずれも申し込み連絡先は、広島市教職員組合(全教) まで
 TEL:(082)264-7850
 e-mail :zenkyo@enjoy.ne.jp

★オンライン併用開催 マラソン講座【参加の申込】→



希望	月日	時間	講座名	講師・問題提起	場所	紹介
	7/25 (火)	18:30～ 20:30	子どもたちの可能性を 拓くスイッチON	倉澤 明子さん (広島市小学校)	東区民文化センター 美術工芸室	算数は出来るできないが目に見えやすく、それだけに、できない分からないことが、子どもたちの自尊心を深く、えぐります。みんな分かってほしい、できるようになりたい。あなたの授業が子どもたちを笑顔にします。
	7/26 (水)	18:30～ 20:30	楽しい科学 (金属と電気)	科学教育研究協議会 (科教協ヒロシマ)	東区民文化センター 美術工芸室	○ 金属の3つの特徴が簡単に、しかも納得できる演示実験と生徒実験を紹介します。生徒実験はみんなでやってみましょう。 ○ 電気の回路学習の導入に使える「あるもの」をみんなで作ります。「えっ?」となるのは保障します。 (ものづくりや実験などの実技は、会場参加の方だけです。)
	7/27 (木)	18:30～ 20:30	“声”を聞き取り合って 民主的な学びと学校生活を紡ぐ —子どもと教師を「奴隷化」しがちな 学校システムにどう向き合うか—	八木 秀文さん (大阪体育大学)	東区民文化センター 美術工芸室	私たち(教師と子ども)が抱え込まれている「生きづらさ」は、どこから生まれてくるのでしょうか。 この状況を冷静に分析しながら、互いの“声”を聞き取り合って学級・学校の民主主義を取り戻していく道筋を一緒に考えてみませんか。
	7/28 (金)	18:30～ 20:30	私の平和教育 (広島教育研究所)	横山 基晴さん (広島市中学校)	東区民文化センター 美術工芸室	いま広島の平和教育が問われています。平和教育が「道徳」として位置付けられていることで、平和教育の本質が揺らいでいるのではなでしょうか。型にはめたような「平和ノート」ではなく、しかし「道徳」として位置付けながら、ヒロシマの平和教育の実践を模索しています。
	7/29 (土)	13:30～ 16:00	【教育シンポジウム】 「どうなってるの?今の学校」	宮下 直樹さん (全教執行委員長)他	広島ロードビル 3F大会議室	いま学校は「教員不足」「ブラック職場」と言われますが、今の学校はどうなってるんでしょう?それが子どもに与える影響は?今の状況を聞くだけでなく、この状況を変えていくために、これから何ができるのか、保護者地域の皆さんとともに一緒に考えませんか?(オンライン参加の方は視聴のみです。)

オンライン参加のFAXで申し込みの方は上の表の「希望」の欄に○を付け、下の必要事項に記入し、このページを送ってください

名前	学校名	メールアドレス	携帯番号

事務局
 広島市教職員組合(全教)
 FAX082-261-1912